

# 吉田地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00

場所:吉田福祉センター 2階 会議室

平成28年度 第6回目

平成28年10月  
鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	吉田校区公民館運営審議会 男性	<p>旧吉田小学校跡地が多目的広場として整備され、グリーンの芝生になり、整備も行き届いてきており、大変感謝している。10月にはこけら落しのグランドゴルフ大会を予定している。</p> <p>先日、陳情したものであるが、改めてお願いしたいことで、現在、教育委員会の倉庫として利用されている旧特別教室棟を交流センターとして活用できるように整備して欲しい。交流センターができると、吉田地域全体あるいは吉田校区の高齢者や色んな人達が触れ合える場になるのではないかと考えている。</p>	<p>旧吉田小学校跡地につきましては、教育委員会が所管しており、教育の場として整備を進めてまいりました。</p> <p>その中で、地元の皆さんに使っていただきたいので、支所に所管替えをしたところです。多目的広場につきましては、支所と吉田校区公民館運営審議会において土地使用貸借契約を締結することになりました。</p> <p>本日のご提案は、旧吉田小学校の一角にあります、旧特別教室棟についてですが、現在は、教育委員会の所管ですので、一義的には、教育委員会の使用目的で、倉庫として利用しております。</p> <p>しかしながら、代替施設を確保する等の条件を整えば、他の用途への変更も可能であり、交流センターとなれば、教育委員会の所管ではなく、用途に応じた所管替えが必要になるなど、様々な課題がありますので、今お話のありましたことは教育委員会にお伝えしますので、その後、協議していきたいと考えております。</p>	教育委員会 市民局	<p>【教育委員会】 吉田小学校移転後に教育委員会の倉庫として利用している旧特別教室棟につきましては、現在代替施設の確保に努めております。 今後は、建物の明け渡しの目途が立ち次第、所管替えができるよう手続きを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>【市民局】 旧特別教室棟については、活用方法を多面的に検討する必要がありますので、今後、地域の要望等を踏まえる中でその有効活用について、関係課と連携しながら全庁的に検討してまいりたいと思います。</p>
2	吉田地域子育て支援者懇談会 男性	<p>待機児童対策として、ハード面の整備は進められているが、福祉の現場では人手不足という大きな課題を抱えている。対策はあるか伺いたい。</p>	<p>本市でも「子育てをするなら鹿児島市」のテーマを掲げ、子育て支援に積極的に取り組んでいます。</p> <p>女性の社会進出、一億総活躍社会、という取組の中で、国は子どもの幼児教育に力を入れて取り組んでおり、本市もそれに呼応する形で、より一層取組を拡大しようとしています。</p> <p>少子化は進んでいますが、共稼ぎの家庭が増え、保育園に子供を預けたいという親御さんが増えてきており、ハード整備を進めても、待機児童は増えてきている現状があります。</p> <p>今、お話のありましたとおり、施設整備は進んでいるが、働く方が不足しているという課題については、「保育士・保育所支援センター」を開設し、保育士の安定的な確保や、潜在的な保育士の再就職支援に、取り組んでいるところです。</p>	健康福祉局	市長回答のとおり
		<p>待機児童を解消するため、ハード面の整備が進められているが、今後、少子化が進むと、供給過多になってしまうのでは、との懸念があるが今後の施策は、どのように進めようと考えているか。</p>	<p>ハード整備が進むことで、保育サービスの供給が増えているが、少子化が進むことで需要が減り、供給過多になってしまう、という懸念があるということですが、現状としては、まだまだ待機児童が多く存在しています。</p> <p>地域性もありますが、まずはそういった現状を解消し、子育て環境をしっかりと整えることが、今の状況では必要だと思っています。地域によっては、今後、入所する児童が不足してくる地域が出てきた場合は、合併等の対策は必要になるかもしれませんが、現時点では、まだまだ施設が不足しており、子育て支援対策を進めることが、鹿児島市の置かれた現実ではないかと思っています。</p>	健康福祉局	市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00~19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	かごしま市商工会 青年部 吉田支部  男性	かごしま市商工会 青年部 吉田支部では、毎月地域内の幹線道路沿いのごみ拾いを実施しているが、よく不法投棄を目撃する。しかしながら、ごみ袋に入らない粗大ごみについては回収してもらえないため、放置している現状がある。何とか回収方法等を改善できないか。	市では、事前の届出により清掃活動を行われる団体や町内会等に対して、ごみ袋の配布や清掃ごみの回収を行っておりますので、こうした制度をご活用いただきたいと思います。 事前に届出いただいた清掃活動で回収された粗大ごみについては、回収させていただきますので、大変お手数ですが、ごみ集積場所までお運びいただければ、と考えております。 ただし、冷蔵庫やテレビなど、市では回収できないものもありますので、どういものが回収できるか、吉田支所や廃棄物指導課にご相談ください。 みなさんがまち美化活動に取り組んでいることに感謝しますとともに、敬意を表したいと思います。 地域に住んでいる人たちが自分達の地域をきれいにする活動は、とても大切で、それが全市に広がるときれいなまちづくりにつながっていくものと考えています。今後とも活動を続けていただければと思いますので、よろしく申し上げます。	環境局	市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	吉田老人クラブ協議会  男性	<p>未結成地域において、老人クラブを作りたい。また、既存の老人クラブの加入者も増やしたい。声掛けをしても加入者を増やすのはなかなか難しい。</p> <p>本日、集まっている皆さんも地域づくりに熱心な方々だと思うので、自分達の地域で老人クラブに加入しようと声をあげていただきたい。色んな場面で協力をお願いしたい。</p>	<p>老人クラブ、町内会、どちらも地域住民の方が加入する任意組織ですが、本市のまちづくりの重要なパートナーだと思います。</p> <p>高齢化が進んでいますが、元気な皆さま方が積極的に活動され、まちづくりの大きな原動力になっていただいているのは確かでございます。そういった意味では、老人クラブや町内会に加入していただいて、活動していただくことは、大変大切なことだと思います。</p> <p>現在、町内会の加入率はどんどん減っており、特に若い方々がなかなか入っていただけない状況がございます。そうしたことから、本市への転入者に、町内会加入を呼びかけたり、それぞれの町内会活動に参加していただくよう、お願いするとともに、PRもさせていただいております。</p> <p>地域のつながりが希薄化している時代ですが、災害や事件が起こった際、また日頃のまちづくりに取り組む上で、町内会は最も基礎的な組織でございます。これは老人クラブも同様で、町内会や老人クラブの加入率の向上が最も重要な課題だと思います。</p> <p>なお、本市では、老人クラブへの活動を支援するため、健康づくりや生きがいづくりの活動に対する助成を行っております。また、研修会や施設見学等に利用できる高齢者福祉バスの運行なども行っております。是非こうした制度をご活用いただき、老人クラブ活動の活性化に役立てていただきたいと思っております。</p> <p>色んな会合、集会などでも、市としても加入促進の広報をしていきたいと思っております。ますます増える高齢者の方々が、できるだけ社会活動に積極的に取り組んでいただきたいと思っております。元気で、生きがいを持ってまちづくりを推進していただく、その母体となっていただくよう、我々も老人クラブの加入促進に努めていきたいと思っております。</p>	健康福祉局 市民局	市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	吉田地域校区公民館運営審議会等連絡会  男性	<p>町内会加入率が下がり、大変である。本名校区では、1,340世帯のうち690世帯しか町内会に入っていない。加入率は約半分である。大きな理由として、マンション、アパートが建設され、入居する若い人達が町内会に加入しないことである。これらのアパート、マンションの住民の町内会加入率は約10%で、色々手を尽くして誘ってモいるが、なかなか加入に結び付かない。</p> <p>本名校区の人口は横ばいだが、加入者が減っている。町内会の加入率が増えないと、校区の発展は望めない。町内会の力が落ちると、まちづくりの力は落ちてしまう。</p> <p>転入者に対して、市としてはどのように対応しているのか。私達の校区にも市職員でありながら、未加入というのが何名かいる。そうすると、誘いに行っても、市職員も入っていないではないですが、と言われると何とも言いようがなくなるので、市職員の町内会加入については対応をしっかりとっていただきたい。また、未加入者というのは公務員で何%いるか、教えていただきたい。</p>	<p>まず、市職員の町内会未加入の件については、言語道断だと思います。局ごとに統計をとり、それぞれの局長から町内会に加入するよう、厳命しています。市職員は9割ほど町内会に加入していると思います。残る1割の職員については、自分の所属する町内会が分からないとか、独身であるからとかは市職員が町内会に加入しない理由にならないので、すぐに入るよう厳命、指示します。</p> <p>町内会の加入率の低下については、市としても大変大きな課題です。町内会加入のための市の取組としては、転入者に対し、窓口で、町内会加入を呼びかけています。また、去年から、8月を町内会加入促進月間とし、地域活動への参加や町内会加入を呼びかけ、町内会活動に対する市民意識の醸成を図っております。</p> <p>また、アパートの管理者や、マンションの販売者に、契約の際に、町内会加入を呼び掛けてほしい、というお願いし、実践しています。</p> <p>町内会加入率が下がっている理由としては、マンションに住む方、特に若い方々が、自分の身の回りのことは自分でできる、入らなくても何ら生活に支障はない、というような考えを持つ方々が多くなっていることや、プライバシーを大事にすることが少しネックになっているのではないかと考えています。</p> <p>昔、隣近所はみんな仲間で、地域の行事は、町内会に入っているみんなの協力で進めていました。これは素晴らしい取組だったと思いますが、どんどん地域の連帯感は希薄になってきています。</p> <p>町内会に加入しないと、こういうペナルティがありますよ、というのができればいいが、町内会は任意組織なので、そういうのは難しいのではないかと考えています。</p> <p>やはり、市の職員が積極的に、その活動の中心になっていかなければならないと思います。私自身も若い頃は地域のために汗をかいた方がいいということで、町内会の役員や会長をしてみりました。</p> <p>私は町内会組織が形骸化されているとは思いませんが、地域の実情、現実には厳しいものがあります。しかしながら、町内会はまちづくりの土台、最も重要なパートナーだと考えています。</p> <p>また、老人クラブや、あいご会など、地域にある様々な組織を集約する、地域コミュニティ協議会を、それぞれの地域に設立しており、その運営に、市として、助成・支援しています。これはそれぞれの地域のまちづくりを、地域コミュニティ協議会の考えで進めていければ、と考えているからでございます。</p> <p>町内会、老人クラブ、あいご会、衛生連など、それぞれの組織を見ますと、失礼かも知れませんが、これまで地域で活躍され、実績を残した方々が、別の組織で色々な役職についているのではないかと考えています。それらを集約してやっていきたいと思っておりますので、地域コミュニティ協議会に力を貸していただきたいと思っております。</p>	市民局	市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	吉田校区公民館運営審議会 男性	吉田校区では、高齢化・過疎化が進んでいて、自分の集落も、高齢化率が50%を超えた。昔から続いている奉仕作業も、若い人が少なくなり、縮小傾向である。思川の草払いや河川清掃についてはついになくなってしまった。とにかく若い人達が入ってこないで、子どもが少なくなり、綱引き大会等もできなくなった。こういう事情があるので、子どもを増やすような取組として、地域活性化住宅をお願いしたい。	<p>地域活性化住宅の建設は、平成20年度から取り組んでいます。平成16年の合併後、地域のそれぞれの活性化、新市の速やかな一体化、均衡ある発展を図るために、合併した地域について、ハード事業・ソフト事業に積極的に取り組んできました。その一つが、地域活性化住宅ということになるのですが、吉田地域においては、23年度本城校区に10戸、27年度から28年度にかけて宮校区に10戸の建設を進めています。</p> <p>ご要望のあった吉田校区を含めた今後の地域活性化住宅の建設計画ですが、27年度に策定しました公共施設等総合管理計画や、各校区の児童数、集落の状況等を踏まえ、事業の効果についての検証を進めているところでございます。吉田地域についても、検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>なお、今年度から、試行的に吉田校区にある高岡(たかおか)住宅など、一般の市営住宅において、空き家募集時に、2戸に1戸を「新婚・子育て世帯向け住宅」として募集する優遇措置をとっておりますので、今後の応募状況についても参考にしていきたいと思っております。</p> <p>今後は、地域に若い力を導入することは、地域の活性化、浮揚につながっていくと思っております。地域活性化住宅もですが、一般の市営住宅についても、若い人達が入れるように、条件緩和していきたいと思っております。</p> <p>学校の統廃合等については私達としてはまだまだ考えてはいたませんが、鹿児島市の人口は、45年後には41万になる国の推測がありますが、鹿児島市の人口ビジョンでは、50万を少し超えるぐらいの人口にしたいと考えています。県では170万が130万人になると推測しており、相当の影響が出ることは間違いのないと思っております。若い世代を鹿児島に残して、地域で生活し、活躍していただくことで地域活性化につながり、企業立地にも、雇用確保にもつながると思っておりますので、今後も努力していきたいと思っております。</p>	建設局	<p>これまで建設した地域活性化住宅の効果の検証および次期整備地区の検討を進めた結果、「吉田小学校区」を次期整備地区の候補地としました。</p> <p>今後、地元説明、土地選定等を進めてまいりたいと思っておりますので、地域の皆様のご協力をお願いします。</p> <p>また、一般の市営住宅に、若い人達が入れるような条件緩和については、「新婚・子育て世帯向け住宅」の優遇措置の試行期間中における効果等を踏まえて、検討したいと考えています。</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	吉田校区公民館運営審議会 男性	<p>平成5年の水害では、死者が3名出た。今回、岩手で水害があり、グループホームが大変なことになった。岩手と吉田地域は、地形的にもよく似ている。先月も大雨が降り、あと1日降ったら、危ない感じだった。</p> <p>思川は、普段は地域の心の拠り所になるようなありがたい川だが、川幅も狭く、蛇行もしているし、すぐ危険な状態になりやすい。</p> <p>水害の後、川底も、何度かさらってもらってきているが、最近、寄洲とか中洲の除去が進んでいない。毎年、吉田校区公民館運営審議会から、県に、寄洲の除去と葦簀の除草をお願いしているが、葦簀がものすごく生い茂って、今は流れが悪い状況である。</p> <p>川は県の管理で、市とは直接関係がないということは分かっているが、鹿児島市の方からも、思川の寄洲の除去や除草について、防災面から、県に要請をお願いできないか。</p>	<p>思川の河川管理、改修、雑草等の除去については、県の地域振興局が管轄しているので、県に伝えたいと思います。</p> <p>市長、知事、幹部職員が集まって意見交換をする県市意見交換会では、河川、道路、急傾斜地等の改修、管理等について話し合われており、これらについては、早急な対応をしてほしいと再三再四要求しているが、県としては県全体の整備等について、優先順位をつけながら進める必要があると言います。</p> <p>とはいうものの、一度災害が起きると、大きな事件になるので、そういうことをしっかりと対応するのが行政の務めなので、2級河川については、県の管理で、市が勝手にするわけにはいかなないので、県の方にも、強い要望があったと伝えたい、と思います。</p> <p>こういうことについては、どしどし支所にも話をしていたきたいと思います。</p>	建設局	<p>県に、吉田校区思川流域の除草及び河底・寄洲の除去について、早急に対応するよう文書にて要望いたしました。</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	吉田老人クラブ協議会 女性	<p>毎年9月20日は、老人クラブの日となっております。その前後に、清掃や花壇作り、友愛訪問等をしている。</p> <p>友愛訪問については、要支援者の高齢者宅を訪問し、結果を市の老人クラブ事務局に報告することになっているが、要支援者名簿がないためにどこを訪問すべきか分からず、苦労している。</p> <p>個人情報保護の観点から、難しい問題だとは思いますが、各地域の老人クラブに対し、担当地域の要支援者の情報提供等ができるよう、良い方法は検討できないか。</p>	<p>要支援者や、災害が起こった時に支援が必要な方の情報はしっかり整えていくことが必要であると考えています。</p> <p>桜島地域では、昨年の噴火警戒レベルが4に上がった際、それぞれの方々がそれぞれの思いで避難し、情報を集約できませんでした。市としては全体的に情報収集のあり方について大きな課題が与えられたと認識しています。このようなことから、災害が発生した際の人員確認をするため、町内会の方々にもご協力をいただき、名簿作成を行っています。</p> <p>それぞれの個人情報もあると思うので、難しい面はあると思うが、支援していくためには情報が必要ですし、支援者とその情報を活用することは共助につながる部分でもあります。情報把握できないことが、皆さまが思いを持ってしておられる活動のハードルになっているというのは課題ですし、上部団体、場合によっては国レベルでの話になるかもしれませんが、解決が必要なものだと考えていますので、どういう形でクリアできるか、研究してみたいと思います。</p>	市民局 健康福祉局	<p>【市民局】</p> <p>鹿児島市では、災害時に自力で避難することが困難な、要介護者や重度の障害者などの方々が、地域の中で避難の支援が受けられるようにするため、「避難行動要支援者名簿」を作成しております。</p> <p>その中で、名簿情報の提供に同意をいただいた方については、消防機関、町内会等の避難支援等の実施に関わる関係者に対して、情報を提供しております。現在は、個人情報保護の観点から提供先を限定しており、老人クラブにつきましては、名簿情報の提供は難しいと考えております。</p> <p>【健康福祉局】</p> <p>介護保険課の保有しております要支援・要介護者の名簿につきましては、個人情報であることから、情報を保護する観点から本人の了解を得ることなく提供することは困難となっております。</p> <p>しかしながら、老人クラブの皆様による友愛訪問は、地域の安心に繋がる重要な活動だと思っておりますので、把握されている要支援の方はもちろん、ご近所で気になる方などにも引き続きお声掛けをしていただきたいと思います。</p>

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成28年9月6日(火)18:00～19:00  
場所:吉田福祉センター 2階 会議室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	かごしま市商工会 青年部 吉田支部  男性	合併して10年経つが、吉田地域と市中心部を結ぶバス路線は、民間バスで、坂元経由しかない。吉野経由のバス路線の新設は検討できないか。あいばすについては、吉田地域と吉野地域を結ぶ便があるが、各所を巡るため時間がかかり、利用しづらい。	吉田地区と市中心部は、民間事業者の路線バスが運行しており、市営バスの運行はございません。 鹿児島県の交通体系は大変複雑で、バス事業者が5社も競合しています。実情を申し上げますと、市営バスは毎年5億円ほどの大赤字でございます。赤字の中でも、市民の足を確保したい、という想いで頑張っていますが、これ以上続くと、経営がうまくできなくなる可能性もあります。 今後は、交通機関のあり方等について、バス協会もありますので、民間の方々と一緒に話し合っていきたいと思っております。 現在、運行している民間バス会社にも、こういう経路で要望があったことについては、伝えていきたいと思っております。 あいばすについては、交通不便地対策ですので、交通が不便な地域の方々のために、各地を回りながら運行しており、時間がかかりますけど、一つの政策として、通常的生活路線を結ぶ交通体系とは違うものですので、ご理解を賜りたいと思っております。 市営バスで、ご提案の路線を開設するということは、民間事業者の経営を圧迫することになることや、乗務員を増員する等、色々と課題がありますので、現時点では難しいと思っております。	交通局 企画財政局	【交通局】 市長回答のとおり  【企画財政局】 吉田地域及び吉野地域で路線バスを運行している南国交通に要望の内容についてお伝えします。
10	吉田校区公民館運営審議会	吉田校区コミュニティセンターに設置している雨量計は簡易式のものでインターネットにつながっていない。 吉田校区は、本名川と思川の2水系が合流する地域で、本名川の雨量というのは、吉田分遣隊のインターネット雨量計で分かるが、現在、思川の周辺の雨量がどれぐらいなのか、吉田校区コミュニティセンターに行かないと、把握できない状況である。 先日の台風の時にはそれほど降らなかったが、その前(6月末のこと?)の雨量はどれぐらいか分からなかったが、その時、大原は大丈夫であり降ってはいなかったが、思川は氾濫する状況だった。そういうのは雨量計がないと分からない。 思川周辺の雨量について、防災上把握する必要があると思うので、インターネットに連携した雨量計を設置してほしい。	インターネットに連携した雨量計は、市内には47か所あり、吉田地域には、3か所設置されています。雨量計は、基本的に土砂災害警戒のために、一定の基準に従って、設置されておりまして、吉田校区コミュニティセンターのある佐多地域については、現在、周辺の4つの観測局で観測しており、基準を満たしていますが、お話をありまして、現実的に、その地域でどれぐらい降っているか分からないというのは、防災面ではネックだと思っておりますので、今一度必要性について検討してみないかと思っております。 なお、河川の氾濫については、河川を監視するシステムによる警戒を基本としていますので、思川については、始良市側に、河川監視システムが設置されていますが、先の台風10号では、岩手で大変な被害がございましたので、思川でもひょっとしたら同じような状況が起こる可能性が無きにしも非ずではございますので、河川を監視している県にも実情をお伝えしたいと思っております。 また、防災を進めていくためには、皆様方の協力が必要です。今後とも、危機管理体制の充実・強化を図っていききたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。	市民局	河川の氾濫については、上流等の様々な地点の雨量により起こっており、河川の監視については、河川監視システムが適切であると考えております。河川監視システムの設置については、県にもご要望をお伝えしていきたいと考えております。